

- EPODOC / EPO

PN - JP62297656 A 19871224
PD - 1987-12-24
PR - JP19860140936 19860617
OPD - 1986-06-17
TI - BLOW-OFF PORT FOR TURBULENT FLOW TYPE AIR-CONDITIONING
SYSTEM
IN - INADA MASAYOSHI
PA - KYUSHU NIPPON ELECTRIC
IC - F24F13/068

- PAJ / JPO

PN - JP62297656 A 19871224
PD - 1987-12-24
AP - JP19860140936 19860617
IN - INADA MASAYOSHI
PA - NEC KYUSHU LTD
TI - BLOW-OFF PORT FOR TURBULENT FLOW TYPE AIR-CONDITIONING
SYSTEM

AB - PURPOSE: To provide a blow-off port, which regulates blow-off flow rate without replacing a perforated plate, by a method wherein, a slide shutter, which regulates the opening area of the perforated plate by being displaced relatively to the perforated plate, is provided in the title blow-off port.

- CONSTITUTION: Air, sent out of an air-conditioning machine, is sent by pressure to respective blow-off units 2 through an air-conditioning duct 1 and dust in the air in respective blow-off units 2 is removed by passing it through filters 3, then, the air is blown down into a clean room C through a slide shutter 4 and the holes 5a of a perforated plate 5. When the flow rate of blow-off air is to be changed, adjusting screws 7 are loosened to slide the slide shutter 4 by the guidance of guides 6, 6, and change the opening area of the hole 5a of the perforated plate 5. After adjusting, the adjusting screws 7 are tightened to fix the slide shutter 4.

I - F24F13/068

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-297656

⑮ Int. Cl.⁴
F 24 F 13/068識別記号 庁内整理番号
B-7104-3L

⑬ 公開 昭和62年(1987)12月24日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 乱流式空調システムの吹き出し口

⑯ 特 願 昭61-140936

⑰ 出 願 昭61(1986)6月17日

⑱ 発 明 者 稲 田 雅 嘉 熊本市八幡町100番地 九州日本電気株式会社内
⑲ 出 願 人 九州日本電気株式会社 熊本市八幡町100番地
⑳ 代 理 人 弁理士 菅 野 中

明 細 書

1. 発明の名称

乱流式空調システムの吹き出し口

2. 特許請求の範囲

(1) ダクトを介して給送される空気をフィルタにて濾過し、濾過した空気を孔あき板より吹き出す乱流式空調システムの吹き出し口において、前記孔あき板に対し相対変位して該孔あき板の開口面積を調整するスライドシャッタを備えたことを特徴とする乱流式空調システムの吹き出し口。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は乱流式空調システムの吹き出し口に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種の空調システムは箱形の吹き出しユニット内に塵埃を取るためのフィルター(HEPA)を取り付け、このフィルターにて濾過した空気を孔あき板から室内に吹き降していた。

〔発明が解決しようとする問題点〕

上述した従来の乱流式空調システムは吹き出し口の孔あき板の口径、数によって吹き出し風量を決定しているので、風量を変えたい場合には孔あき板をその風量に見合ったものと交換しなければならないという欠点がある。

本発明の目的は孔あき板を交換することなく、吹き出し風量の調整を行う吹き出し口を提供することにある。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明はダクトを介して給送される空気をフィルタにて濾過し、濾過した空気を孔あき板より吹き出す乱流式空調システムの吹き出し口において前記孔あき板に対し相対変位して該孔あき板の開口面積を調整するスライドシャッタを備えたことを特徴とする乱流式空調システムの吹き出し口である。

〔実施例〕

以下、本発明の一実施例を図により説明する。

第1図(b)に示すようにクリーンルームCの天井Uには箱型の吹き出しユニット2が設置され、

該ユニット2にはダクト1が接続され、その内部にはフィルター3が設置されている。さらに、吹き出しユニット2の吹き出し口には孔あき板5が取付けられる。

本発明は孔あき板5の両側縁に対をなすコ字型のガイド6、6を平行に付設し、板面に孔4a、4a…を穿設したスライドシャッタ4の側縁を平行なガイド6、6に嵌合させて該スライドシャッタ4を孔あき板5に対し、ガイド6、6に沿って相対変位可能に設け、孔あき板5に対するスライドシャッタ4の相対位置関係を変化させて孔あき板5の孔5aの開口面積を変更するようにしたものである。また、孔あき板5にはスライドシャッタ4のスライド方向に延びる長孔5bを設け、調整ねじ7を長孔5bに通してスライドシャッタ4に取付けてある。

実施例において、空調ダクト1は空調機から送られた空気をそれぞれの吹き出しユニット2に圧送し、吹き出しユニット2内の空気はフィルター3を通過して塵埃を取り除かれ、スライドシャッ

タ4と孔あき板5の孔5aからクリーンルームC内に吹き降される。ここで、吹き出し風量を変える場合には調整ネジ7を緩めてスライドシャッタ4をガイド6、6の案内によりスライドさせ、孔あき板5の孔5aの開口面積を変化させる。調整後は調整ネジ7を締めてスライドシャッタ4を固定する。

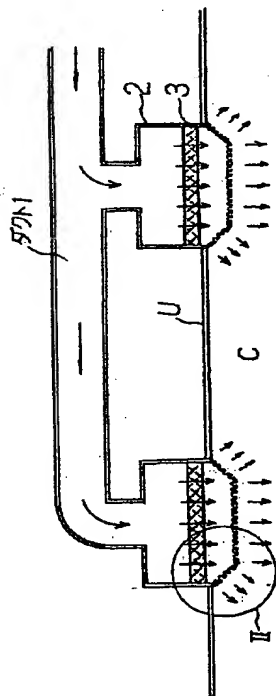
〔発明の効果〕

以上説明したように本発明は吹き出しユニットの孔あき板にスライドシャッタを付設することにより、吹き出し風量調整を孔あき板の交換なしで容易に行なうことができる効果がある。

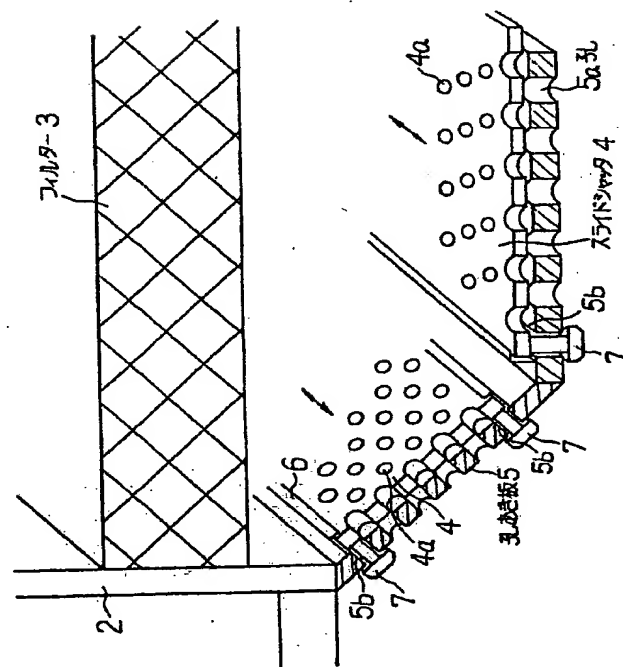
4. 図面の簡単な説明

第1図(a)は本発明の乱流式空調システムを示す構成図、(b)は第1図(a)のII部拡大縦断面図である。

- | | |
|---------|------------|
| 1…ダクト | 2…吹き出しユニット |
| 3…フィルター | 4…スライドシャッタ |
| 5…孔あき板 | 5a…孔 |
| 6…ガイド | 7…調整ネジ |



(a) 第1図



(b) 第1図